

# 大谷園林保育園の取り組み

Ver.4

## ～0歳児編 其の2～ 「絵本の読み聞かせ」

赤ちゃんにとって、お父さんやお母さんの優しく、温かい笑顔や語り掛けは、赤ちゃんの心に届き、心地よさや安心感を与えます。絵本の読み聞かせは、お父さんやお母さんと同じ物を見ながら、言葉をたくさん聞くため、心を通い合わせることが出来ます。心を込めた読み方とリズムが、子ども達のコミュニケーションを取りたいと思う気持ちを育てていきます。

大谷園林保育園の0歳児クラスでは毎日、朝と夕方に時間を設け、子ども達に絵本の読み聞かせを行っています。また、遊びの中でも保育者が見守る中、子ども達が自由に絵本に触れられるようにもしています。



### 赤ちゃんは、絵本を通してどのように育つの？

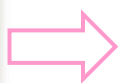
赤ちゃんは、見たことのある動物や乗り物、食べたことのある食べ物が出てくる絵本が大好きです。なぜかと言うと、自分の身近にある物=知っている物だからです。そのため、赤ちゃんが興味を示すことが多いのです。日常生活で目にする、身近な物や事柄がテーマになっている絵本はわかりやすく、おすすめです。



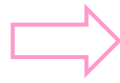
例えば…



この絵本には様々な果物が登場します。



いちごが「ぺこっ」と挨拶をしています。



それを見た、子ども達も同じように「ぺこっ」と挨拶します。

### 保育者の思い

ただ、絵本の文字を読むだけではなく、保育者が読みながらする、動作（例えば…いちごが「ぺこっ」に合わせて保育者もお辞儀をする等。）や読み方（言葉が聞き取りやすいようにはっきり、ゆっくり読む等。）を工夫し、子ども達の心に温かく届くように、1回1回丁寧に読み聞かせを行っています。

お父さん、お母さんも実践してみてください！

